

『暮らしを守り、市民とともに長岡の未来を創る予算』

長岡市は、激しく変化する社会経済情勢や時代のニーズに柔軟に対応するため、行財政改革を加速し、市民が将来にわたって安心して暮らせるまちづくりと、新しい発想により新たな価値を創造していくイノベーションの視点に立ったまちづくりを、市民とともに力強く進めてまいります。

まちづくりには、地域の力を高め、地域のつながりを強くする地域共生が重要であり、がんばる市民の活動、ふるさと長岡を盛り上げる活動への支援を充実します。そして、健康、福祉、子育て、防犯などにきめ細かく対応し、暮らしの安心と安全の確保を図ります。

また、今年の台風第19号の教訓を踏まえ、市民や地域と協力した防災体制の強化や、治水・内水対策など災害に強いまちづくりに取り組みます。

さらに、「新しい米百俵」による人材育成や、教育環境、都市インフラ、産業振興など、長岡の活力を高める「未来への投資」も進めてまいります。

東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、交流基盤の整備や交流機会の拡大を図り、長岡の魅力を全国・世界に発信します。

令和2年度からは、第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略がスタートします。長岡に愛着と誇りを持てる「ふるさと長岡」を創ることを目指し、全市民協働で積極的・戦略的に進めていきます。

この基本姿勢に基づき、令和2年度当初予算を、『暮らしを守り、市民とともに長岡の未来を創る予算』としました。

予算の特徴

■ 予算規模

一般会計

1,311億1,300万円 (前年度比3.1%減)

総予算(特別会計・企業会計含む)

2,150億7,310万円 (前年度比1.6%減)

■ 経済対策で事業前倒し

国の経済対策（補正予算）を踏まえ、2月と3月に予算の補正を行い、切れ目のない経済対策を実施

一般会計 普通建設事業費	
〈元年度 経済対策補正予算〉	〈2年度当初予算〉
23.1億円（予定）	154.8億円

合計で177.9億円の事業を2月から切れ目なく実施

○学校、道路など生活に密着した施設やインフラを整備

■ 財政調整基金の取り崩しを大幅に縮減

- ・人件費や事務事業の見直しなどによる経費削減
- ・収入の確保
- ・都市整備基金を4.8億円取り崩して事業を推進

などにより、財源不足を補う財政調整基金の取り崩し額は、**3.5億円で、対前年度比で16.7億円の減とした。**

■ 重点施策

I 暮らしの安心と安全の確保	358.4億円
II 台風第19号の教訓を踏まえた災害に強いまちづくり	9.8億円
III 「新しい米百俵」による人材育成と未来への投資	199.7億円
IV 長岡の魅力発信と交流・関係人口の拡大	28.5億円
V 行政サービスの効率化と利便性向上	

重点施策

重点施策の柱立て 別紙のとおり

I 暮らしの安心と安全の確保

子ども食堂や地域コミュニティなど、地域の力を高め、がんばる市民の活動を積極的に応援します。

障害者の就労支援や日常生活用具の支援などできめ細かく対応するほか、新たにDV被害者へ心のケアを行い生活再建までの支援を行います。健康増進、

高齢者の暮らしなどにも十分配慮し、地域共生のまちづくりをきめ細かく推進します。

子育て支援としては、産後のサポートの拡充を行い、児童虐待防止の体制を強化するために総合支援拠点を設置するなど、子育て環境の整備を進めます。

また、増加するサルやイノシシなどの被害に対応するため、市民と協働で鳥獣被害対策に取り組みます。その他、地域の高齢者の見守りや防犯、公共交通など、地域の生活の安心確保対策に取り組み、道路、公園といった身近な生活環境の整備も進めていきます。

○市民協働と市民活動の支援

1 【新規】長岡の未来を創る市民の活動を支援	2,056万3千円
2 <拡充>子ども食堂への支援	100万円
3 上川西コミセン、中之島コミセン上通分室の整備、川口コミセンの開設	3億 956万2千円
4 ながおか・若者・しごと機構への支援	3,000万円
5 栃尾地域の交流・活動拠点を整備	7億2,316万8千円

○健康・福祉・医療と地域共生社会の推進

1 【新規】障害者の就労の促進	1,848万6千円
2 【新規】視覚障害者や難病患者へ新たな日常生活用具の購入費用を助成	111万9千円
3 【新規】DV被害者の心理ケアから生活再建までを支援	908万1千円
4 <拡充>胃がんリスク検診・歯科健診の対象者の拡大	4,449万4千円
5 <拡充>生活習慣病予防対策の推進	1億4,729万7千円
6 高齢者の健康と暮らしの支援（地域包括ケアシステムの推進等）	2億5,933万3千円

○子育て環境の整備

1 【新規】子ども家庭総合支援拠点の設置（児童虐待防止・対応の体制強化）	2,755万3千円
2 【新規】児童館・児童クラブの整備（青葉台、上川西）	810万円
3 <拡充>長岡版ネウボラ（産前産後サポート）の実施 （多胎児家庭への支援拡充、「ままりら」イブニング枠新設、宿泊型産後ケアの実施）	2,426万6千円
4 <拡充>病後児保育施設を増設	1,393万8千円

○地域の生活の安心確保と防犯等の安全対策

1 【新規】ICTを活用した高齢者見守りの仕組みづくりの研究	91万9千円
2 【新規】高齢運転者の安全運転セミナーの実施	47万円
3 <拡充>鳥獣被害の防止対策の強化	2,562万円
4 <拡充>地域おこし協力隊・集落支援員の増員	7,178万3千円
5 <拡充>高齢者の交流の場（よったかり場）の立ち上げ支援	200万円
6 <拡充>交通空白地区における地域交通社会実験（中之島、和島、栃尾地域）	1,185万3千円

○身近な生活環境の整備と地域経済の下支え

1	地域インフラの整備	公共事業費総額（補正予算）※	総額	241.3億円
2	切れ目のない公共事業の早期発注	（補正予算）※	総額	6.7億円
3	住宅・空き家リフォーム費用の助成			5,000万円

※（補正予算）…経済対策として2月と3月で予算計上（予定）している事業を、全部または一部含む事業。
表示している金額は補正予算（予定）額を含む。

II 台風第19号の教訓を踏まえた災害に強いまちづくり

昨年の台風被害を教訓に、市民が災害の発生や避難情報に素早く対応できるように、情報伝達の強化や水防避難訓練を行います。

ハザードマップやマイタイムラインの防災教育により、被災想定区域や避難場所、避難経路などを市民が日ごろから意識してもらえるように、地域や学校への普及啓発活動を行います。

また、寿町排水ポンプ場の整備や今井地区に可搬式ポンプを常設するなど、治水・内水対策を強化します。

○早めの避難行動を促す体制づくり

1	【新規】防災ホームページの機能強化と固定電話への避難情報発信	910万円
2	【新規】「マイタイムライン」を活用した学校での防災教育推進	540万円
3	【新規】各種ハザードマップの作成と住民周知	6,950万円
4	【新規】水防避難訓練の実施	132万3千円
5	地域防災力の強化（防災の相談支援）	807万2千円

○治水・内水対策の強化

1	【新規】寿町排水ポンプ場の整備	1億4,400万円
2	【新規】今井地区にポンプの常設等緊急排水の強化（補正予算）※	3,890万円
3	【新規】田んぼダムの整備の推進	100万円
4	浸水常襲箇所雨水管増強などのピンポイント対策を実施	1億4,630万4千円

III 「新しい米百俵」による人材育成と未来への投資

人材育成の拠点施設となる「米百俵プレイス（仮称）」での「人づくり・学び・交流エリア」の整備を進めます。教育分野では、学びの可能性を広げるためのICT環境の整備を進めるとともに、教育相談窓口の一元化として「子ども・青少年相談センター」を開設します。その他にも校舎大規模改造などの施設整備を行い、安心・安全で快適な教育環境づくりを進めます。

将来に向けた都市インフラの整備として、中之島地域に新ごみ処理施設の建設を開始するほか、大手通坂之上町地区市街地再開発事業、大積スマートインター

チェンジ（仮称）の早期事業化の計画策定、左岸バイパスをはじめとする広域幹線道路整備などを進めていきます。

産業振興としては、がんばる地域企業を応援するために様々な支援を行うとともに、大学・高専との連携による人づくり・産業振興の「N a D e C^{ナ デ ッ ク}構想」の推進や、地元就職を促進する取り組みの支援を行います。また、長岡北スマート流通産業団地の整備と分譲促進、農業の生産性の向上や競争力ある担い手農家の育成・支援、新規就農者・漁業就業者への支援等により、産業振興と働く場の創出を図ります。

○人材育成・教育環境整備の推進

- | | | |
|---|---|-------------|
| 1 | 【新規】小・中学校にタブレット型端末を導入し教育のICT化を推進 | 4,921万4千円 |
| 2 | 【新規】子ども・青少年相談センターの開設 | 1,909万2千円 |
| 3 | <拡充>中学校部活動指導員の増員 | 618万9千円 |
| 4 | <拡充>総合支援学校スクールバスの運行延伸 | 681万2千円 |
| 5 | 「米百俵プレイス(仮称)」に「人づくり・学び・交流エリア」を整備（実施設計等） | 7億2,300万5千円 |
| 6 | 校舎の大規模改造、トイレ洋式化等（補正予算）* | 13億4,966万円 |

○将来に向けた都市インフラの整備

- | | | |
|---|---|--------------|
| 1 | 【新規】新ごみ処理施設の整備 | 3,371万4千円 |
| 2 | 大手通坂之上町地区市街地再開発事業の推進 | 29億9,132万7千円 |
| 3 | 大積スマートIC（仮称）の事業化に向けた実施計画策定と周辺道路の整備
（補正予算）* | 7,101万4千円 |
| 4 | 広域幹線道路整備の推進（左岸バイパス、長岡東西道路、八十里越道路等）
（補正予算）* | 13億3,842万2千円 |

○産業振興と働く場の創出

- | | | |
|---|---|--------------|
| 1 | がんばる地域企業を応援
（中小企業向け制度融資、商工団体の販路開拓支援、企業の事業承継支援等） | 56億2,609万4千円 |
| 2 | <拡充>外国人材の活躍のための環境整備 | 1,557万8千円 |
| 3 | N a D e C構想等産業イノベーションの推進
（イノベーションモデルプロジェクトの実施、起業・創業の支援等） | 9,419万5千円 |
| 4 | 地元就職の促進
（企業見学会、就職ガイダンス等の開催、働き方改革の推進等） | 5,733万9千円 |
| 5 | 長岡北スマート流通産業団地の整備と分譲促進（補正予算）* | 1億3,491万8千円 |
| 6 | 担い手農家への支援 | 8,301万6千円 |
| 7 | 新規就農者・漁業就業者の確保への支援 | 1,215万円 |

IV 長岡の魅力発信と交流・関係人口の拡大

東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、聖火リレーなどのイベントを開催し、インバウンド観光を推進します。

また、悠久山公園、摂田屋地区「機那サフラン酒本舗」、寺泊旧北国街道など、市民に親しまれ、歴史的にも貴重な地域資源を活かして施設等を整備し、観光交流を促進します。長岡花火の観光拠点となる「ながおか花火館」は令和2年度オープンに向け整備を進めます。

さらに、地域資源、観光施設、交流イベントなどの長岡の魅力を、様々な情報発信ツールを活用して全国・世界に発信し、長岡ファンの獲得拡大を目指します。

○東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流機会の拡大

1	【新規】聖火リレー・聖火フェスティバルの開催	699万1千円
2	オーストラリア競泳チーム等の合宿の受け入れと市民交流	4,726万3千円
3	インバウンド観光の推進	320万円

○地域資源を活かした観光交流の促進

1	【新規】悠久山公園の桜等の再整備	2,787万7千円
2	「ながおか花火館」の整備	7億9,225万6千円
3	摂田屋地区「機那サフラン酒本舗」の整備	2億2,731万5千円
4	寺泊旧北国街道周辺地区の整備	8,304万3千円

○長岡の魅力を全国・世界に発信

1	<拡充>ふるさと納税を活用した長岡ファンの獲得	12億 101万9千円
2	メディアを活用した地域資源の効果的なPR (「発酵・醸造のまち」、長岡産「食材」、ながおか米、錦鯉)	3,157万6千円
3	世界に誇る縄文文化や火焰型土器を広く発信	453万3千円

V 行政サービスの効率化と利便性向上

行政ICTの推進やスマホ決済の導入、オープンイノベーションによる行政課題の解決などにより、行政サービスの効率化と市民の利便性の向上を図ります。

1	<拡充>AIを活用したOCR導入による行政ICTの推進	3,210万7千円
2	<拡充>市税等の納付にスマホ決済の導入	42万7千円
3	オープンイノベーションによる行政課題の解決	324万円